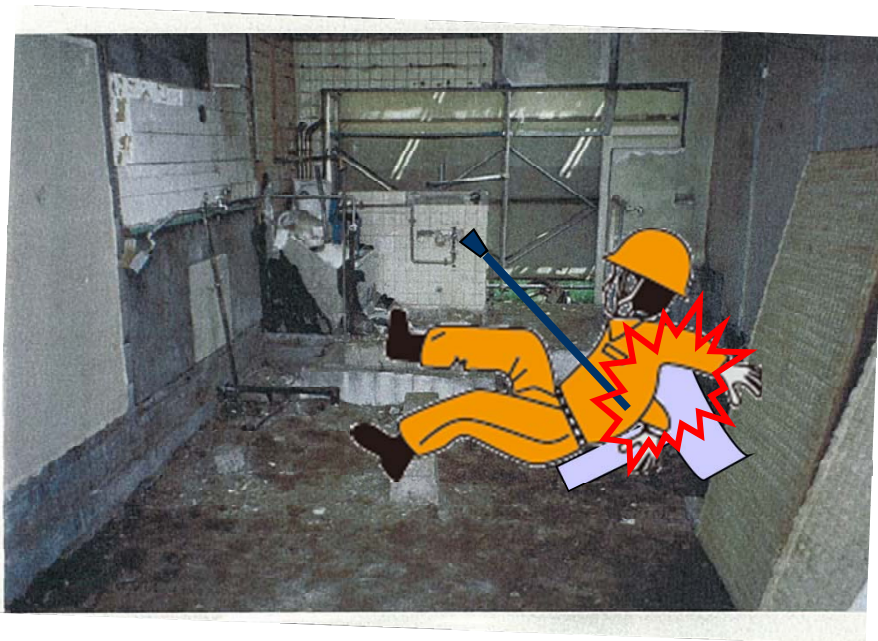


『内部造作解体中、バールの反動で転倒し廃材に激突』

発 生 年 月	平成 年8月
時 刻	10:20 頃
被 災 者	普通作業員(55歳)
傷病名・部位	左上腕、前腕座裂、筋・腱断裂 (休業42日)

- ◎ 発生状況
1. 当日、内部造作解体作業を3名で行っていて、被災者は階段部分壁面にバールを差込み、板を外そうと煽っていた。
 2. バール先端の掛りが浅かったため、バールが隙間よりはずれ、反動で被災者は後方によろめき、浴槽の20cm程の段差に足を取られ、転倒した。
 3. この際、浴室内部に集積仮置していた割れた陶磁器製の洗面台の廃材箇所転倒したため、左腕に当り上腕前腕部を裂傷した。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業打合せ、KY活動において危険有害要因(リスク)の抽出をして周知徹底させること。
- ・再度、解体作業手順の再教育を行い周知、指導すること。
- ・解体作業手順を守らずに所定の手順を省いたため、無理な体勢で作業をせざるを得なく、結果的にバランスを崩した。